

倫理[分析]

第1日程と同様、読解力に重点をおく出題が増えた。

第1日程と同様に読解力を重視する問題が増えた一方で、試行調査に見られた連動問題や多くの写真を用いた読み取り問題は出題されず、形式面、内容面ともにセンター試験に近い問題が多かった。

難易度（【第1日程(1月16日・17日)】との比較）

第1日程並み

大問で難易度の高低が見られたが、全体的に第1日程と同様であった

出題分量（【第1日程(1月16日・17日)】との比較）

出題の分量は、小問数、ページ数ともに第1日程と同様であった。ただし、4択問題の選択肢文の行数は、第1日程では2行が多く3行が1題しかなかったのに比べ、第2日程では3行のものが9題に増加した。

出題傾向分析（【第1日程(1月16日・17日)】との比較）

第1日程と同様に、従来のセンター試験と比べて、読解力や思考力を要する問題のウェイトが高まった。ただし、問われる知識の範囲は、第1日程と同様に教科書を中心とする学習で対応できる標準的なものであった。

2021年度【第2日程(1月30日・31日)】フレーム

大問	分野	配点	マーク数
第1問	源流思想	24	8
第2問	日本思想	24	8
第3問	西洋近現代思想	24	8
第4問	青年期と心理、現代の諸課題	28	9
合計		100	33

2021年度【第1日程(1月16日・17日)】フレーム

大問	分野	配点	マーク数
第1問	源流思想	24	8
第2問	日本思想	24	8
第3問	西洋近現代思想	24	8
第4問	青年期と心理、現代の諸課題	28	9
合計		100	33

設問別分析

第1問

ギリシア哲学、キリスト教、イスラーム教、仏教、古代中国思想など、東西の源流思想からバランスよく出題された。難易度は、第1日程と同様で、取り組みやすい良問が多かった。問3で「ステューワードシップ」というなじみのない言葉が正解のヒントとして使用されたが、この言葉を知らなくても空欄前後の文脈から正誤を判断できる。問4は二つの資料文を踏まえて判断させるという、第1日程でも見られた形式の問題であった。問8は、選択肢すべてが正文だが、文章中の空欄に入るものとして適切な選択肢を、それぞれの思想内容について理解した上で文脈を踏まえて読み取る力が試されたもので、従来のセンター試験や第1日程には見られない、試行調査に類似した形式であった。

第2問

古代日本における神々への信仰、江戸期の思想、近代の思想など、日本思想の分野から幅広く出題された。問6では、栄西の『喫茶養生記』に関する知識と、空海の綜芸種智院に関する知識が問われた。また、問7では手島堵庵についての知識が要求される出題がなされ、他の選択肢の正誤判断についても、富永仲基、山片蟠桃といったやや細かい思想家についての知識が必要となり、受験生にとっては消去法で解くのも難しい問題であった。問8は、和辻哲郎の資料文を踏まえてレポート文中の空欄を埋めるという形式であるが、読解力で対応できる設問であった。

第3問

ルネサンスからレオナルド・ダ・ヴィンチ、宗教改革からルター、カルヴァンの思想、カントの思想、マルクスの思想など、近現代西洋思想から幅広く出題された。問3は、ベンサムの政治的制裁（法律的制裁）とミルの他者危害の原則を正確に理解していないと解けなかったであろう。問7は、資料と会話を組み合わせるという試行調査や第1日程でも見られた形式の問題であるが、読解力があれば正解できる問題であった。問8は、会話文の内容に合致するものを選ぶというセンター試験で見られた形式の問題であるが、読み取り自体は難しくない。

第4問

青年期の心理、生命倫理、ウィトゲンシュタインやソシュールなど、青年期と現代社会の諸問題から出題された。問1の「ハラール」や問4の「顕微授精」という言葉自体は倫理の受験生にはなじみが薄く、やや難しかったであろう。問5のウィトゲンシュタインの問題も、前期と後期のウィトゲンシュタインの理論の違いが理解できているかが問われており、やや難しい。問6の G.H. ミードとソシュールも、受験生にはなじみのうすい思想家であり、やや難しかったであろう。問7のテイラーの読み取り問題は、単純な読解ではなく、「共同体主義（コミュニタリアニズム）」についての知識が必要とされるものであった。リベラリズムやリバタリアニズムとの違いが理解できているかどうかを試された。問9は複数の会話文を踏まえて、空欄に適切な記述を入れる形式であり、センター試験では見られなかったが、第1日程でも類似した形式の出題があった。

過去平均点の推移

21年度※ 【第1日程】 (1月16日・17日)	20年度	19年度	18年度	17年度
72.0	65.4	62.3	67.8	54.7

※2021年度の平均点は1/22大学入試センター発表の中間集計その2の平均点です。